



みなみ

南小の校訓：ほんきに なかよく がんばる



石岡市立南小学校
学校だより No.14
発行日 2023.10.10
文責 校長(山口)

後期のスタートです

朝夕の涼しさに、やっと秋の気配を感じるようになりました。本日から後期の開始です。次年度の南小学校は4校統合になることから、今の友達関係の中での最後の学期となります。6年生にとっては、中学校につながる小学校最後の学期でもあります。職員一同、前期の振り返りを生かし、後期の教育活動の充実を目指して取り組んで参ります。

後期の南小では、今後も機会を見て統合に向けた児童同士の交流や、次年度の校内組織づくりに向けた取組等を進めて参ります。しかし、現状では改築に伴う環境等により、通常のように学校を開くことが難しく、学校での児童の成長の様子を見て頂く機会を十分に確保できず、心苦しく感じております。重ねて学校では、1月下旬予定の体育館の完成、2月中旬に予定される校舎の完成に伴う物品の移動等、また3月末には閉校する3校に係る物品・諸帳簿等の移動・整理、さらには人事異動等も重なる中、混乱をきたさないよう計画的な業務の遂行が求められます。その中で、保護者の皆様方のお力をお借りする事もあると思っておりますので、その節にはご協力ならびにご配慮頂けますと幸いです。



本朝、リモートにて後期始業式を実施しました。以下に校長式辞を掲載いたします。

今日は後期始業式です。6年生にとっては小学校で迎える最後の学期ですね。

4月からはじまった新しいクラスでの生活も、半分が過ぎました。毎日の授業や遠足や運動会などの学校行事などを経て、少しずつ、でも確実に成長する様子を見てきて、校長先生はとてうれしく感じています。

始業式や入学式などで、同じことをくり返し話してきました。先生は君たちの何倍もの時間を生きていますが、今でもとても大切だと感じているからです。話をしてきたのは、人の心を育てるのは「人のぬくもり」や「温かい言葉」だという話や、「まわりの人を笑顔にする工夫をしてほしい」という話でした。

皆さんは、学年・学級での生活や縦割り班や登校班の中で、友達を成長させる「温かな言葉」や「元気の出る言葉」を伝えることができているか。人は、安全な場所、安心できる場所だと、のびのび成長することができます。君たちの学級や学校が、安全な場所、安心できる場所になるように、先生方も頑張っていますが、君たち一人一人も気をつけることが大切です。

そこで今日は、君たちに伝えたい言葉があります。みんなが覚えてくれると、とてもうれしいです。

それは、「たった一言が人の心を傷つける、たった一言が人の心をあたためる」です。

体が傷つくと、はれたりあざになったり、時には血が出るなどして、見た目にも分かります。しかし、言葉や行動で心が傷ついたとき、表情に出れば気がつくかもしれませんが、我慢してしまうと見た目にはわかりません。しかし、心が傷つくと、脳の成長に影響が出るそうです。最近の脳科学研究によると、人を傷つける言葉は、いわれた人だけでなく、いった人の側にもいわれた人と同じくらいに脳の成長に影響が出るそうです。どちらも不幸になる結果は、誰も望んでいないと思います。

今日から始まる後期を共に過ごす学級の仲間たちや、登校班や縦割り班など、自分とつながりのあるもの同士、6年生などの上級生が中心となって確認し合って、前期に築き上げてきた良さを、後期につなげていくことは、君たちの成長にとってとても大切です。心をあたためる言葉を、沢山伝えあうことができるように、心がけてほしいと思います。